

三重県指定希少野生動植物種一覧（平成16年5月11日指定告示）



ツキノワグマ

飯高町、宮川村、海山町、尾鷲市、熊野市、紀和町などで生息情報があります。紀伊半島の個体群は孤立しており、個体数は3県で約180頭と推定されています。



カンムリウミスズメ

紀伊長島町の沖合や離島で生息、繁殖記録があります。1970年頃の個体数は数百羽と推定されていますが、カラスや人による繁殖阻害が原因で、激減しています。



カラスバト

紀伊長島町の離島で生息記録があります。温暖な照葉樹林に生息し、果実や堅果を採餌します。かつては、尾鷲市や紀伊長島町付近にも生息していました。



ウチヤマセンニュウ

日本へは夏鳥として渡来し、県内では紀伊長島町と志摩町の離島で生息、繁殖記録があります。人の活動による繁殖地への悪影響が懸念されます。



カワバタモロコ

津市と度会町のため池で生息記録があります。生息環境の悪化や競合種、捕食種の移入、さらに捕獲圧等により減少しています。



ウシモツゴ

岐阜、愛知、三重県に分布し、県内では伊勢市と度会町で生息記録があります。捕獲圧による減少や土砂の堆積による生息環境の悪化がみられます。



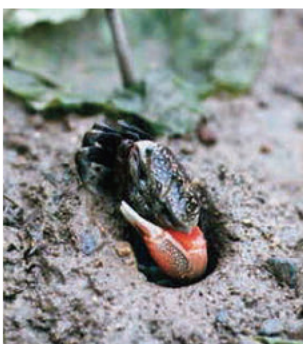
カワラハンミョウ

津市と河芸町で生息記録があります。川原や砂浜に生息しますが、砂地の減少や生息地への車の乗り入れなどにより激減しています。



ハクセンシオマネキ

県内では松阪市と伊勢市に生息します。個体数はいずれの生息地でもきわめて少なく、その生息地面積も縮小しています。



シオマネキ

県内では南勢町に生息し、本種の国内の分布北限地として貴重です。しかし、面積も狭く、土地の利用が人と重なるため安心できる状況ではありません。



カナマルマイマイ

いなべ市の鈴鹿山脈藤原岳の石灰岩地域にのみ生息する三重県特産種です。



ヒモツル

近畿地方以西の山地に分布する常緑性のシダです。県内では御浜町で生育します。この生育地は1961年に発見され、国内の分布北限地です。



ヘゴ

亜熱帯性の木性シダです。県内では、尾鷲市と紀宝町で生育が確認されています。かつては尾鷲市の数地点でも生育していましたが、現在は確認できません。



オオタニワタリ

紀伊半島を分布北限とする暖地性のシダです。県内では紀伊長島町の離島で生育します。かつては熊野灘沿岸部にも生育しましたが、現在は確認できません。



オニバス

1 m以上の水上葉をつける一年草です。多度町の水田地帯の水路で生育します。昭和のはじめ頃には、隣接の長島町、桑名市などでも点々と生育していました。



ジュロウカンアオイ

尾鷲市の山中にのみ生育します。本種は、1976年に新種記載された三重県特産種です。園芸用採取により減少しています。



マメナシ

丘陵地の湿地周辺に生育します。県内では、四日市市や多度町、玉城町で見られます。かつては、明和町、鳥羽市でも記録されていますが、現在は確認できません。



ハマナツメ

海岸近くの湿地に分布し、県内では南島町、紀勢町、海山町、尾鷲市、熊野市及び御浜町で確認されています。全国で1万株程度、県内では約6千株が生育しています。



ムシトリスミレ

湿り気のある岩壁に生える多年草の食虫植物です。県内では飯高町の山中で生育し、変種イタカムシトリスミレと分類されています。園芸用の盗掘がみられます。



トダスゲ

水辺に生える多年草です。全国的にも珍しく、数地点で200株程度が確認されているだけです。県内では海山町で生育します。この生育地は全国最大規模です。



ツクシナルコ

平地の湿地に生える多年草です。紀伊半島と四国、九州に分布し、全国の生育個体数は、約800株であると推定されています。県内では尾鷲市、紀伊長島町、海山町で生育します。